

**Q. 井戸を掘る方法について**(廣海泰次郎)(2008.2.2)

深さ約 15m の地下に地下水が得られるため、内径約 6m の井戸を掘り下げたい。(掘削に当たっては水替えも要するとする)掘削後地下水を期待通り得るため、掘削に先立って土留めや板を打つことはなるべく避けたいとすれば、どのような合理的な工法があるか、またその工法を得意とする施工業者は誰か、を教えてください。

**A. (北村正夫)(2008.2.7)**

深さ15m、直径6mの井戸を掘りたいとのことですが、どの程度の水量が必要なのかわかりませんが、50年前でも深井戸は1m以下でした。ご存知のように、ポンプ能力は向上しているので、6mは大きすぎます。1mの井戸でも掘る人はいないでしょう。1mの井戸を掘るのでしたら、ベントで掘ったら如何でしょうか、先端の鋼管にストレナーの穴をあければ、安全に水はあげれると思いますが、それにしても1mでも大きい。建設会社のOBさんに相談したら如何でしょうか。

**A. (金山正吾)(2008.2.10)**

直径6～7mの円筒形地下構造物は、橋脚基礎などに事例は多いと思います。施工法としては、井筒工法というかオープンケーソン工法が可能でしょう。地上で造られた鉄筋コンクリート円筒(高さ3m程度の)の内部を掘削しながら沈下させ、1ロットが沈下終了すれば円筒構造物を継ぎ足し打設して、同様に沈下させる。この過程を繰り返して所定の深さに設置完了させる、という方法です。

沈下させる際には、円筒周囲の摩擦を減少させる細工が必要ですが、むずかしいことはありません。

**A. (櫻井義行)(2008.2.12)**

直径6～7mの円筒形地下構造物は今まで経験したのは深礎工法と云うのがあります、これは大きな段取りもいらず出来ます。詳しく計画出来る会社を紹介致します。

〒601-1439 京都市伏見区石田森東町 1-2

都建設株式会社 TEL075-573-0051 FAX075-573-2498

担当者 大山部長 一度連絡してみてください。

私は経験済みです。